

がんセンター だより

2026年
9月
発行
— Vol.14 —

寄り添い、
共に歩む医療をめざして ——

岩手県立胆沢病院での
情報交換会の様子

目次

- 緩和ケア研修会開催報告
- 啓発活動報告
- イベント参加報告
- がんセンターからのお知らせ
- 地域連携病院との情報交換会
- がんサロンからのお知らせ
- 院内がん相談窓口の案内



2026年度

岩手医科大学附属病院 緩和ケア研修会開催



緩和ケア研修会は、がん等の診療に携わる全ての医療従事者が、基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を修得することを目的としております。

がん診療連携拠点病院では、自施設のがん診療に携わる全ての医療従事者が、基本的な緩和ケアを理解し、知識と技術を習得することを目的とし、厚生労働省の定めるプログラムに則った研修会を実施しております。

都道府県がん診療連携拠点病院である岩手医科大学附属病院でも、2026年6月13日（土）に、2026年度岩手医科大学附属病院緩和ケア研修会を開催しました。

研修会には、院内外の医師12名が参加し、講義の他、グループ演習や、ロールプレイング演習、がんを体験された方の講演などを通じて、緩和ケアについて広く学びました。

緩和ケアに対する理解を深めることにより、がんと向き合う患者さんやご家族に、がん治療の初期段階から適切に緩和ケアが提供されるよう、これからの診療に活かしていきたいと思っております。



グループワーク



ロールプレイング演習



e-learningの復習



グループ演習

盛岡市「材木町よ市」にて、 がんセンターのPR活動を行いました

5月30日(土)、毎週土曜日に開催されている盛岡市「材木町よ市」にて、がんセンターのブースを設置し、がんに関するPR活動を行いました。

当日は、天候があまり思わしくなかったものの、多くの方々が来場し、グッズやリーフレットを手にする姿が見受けられました。

PR活動に参加した、がん相談支援センター長の馬場教授は、「多くの方々に、がんについて正しい知識を知って欲しい。ひとりで悩まず、困ったことがあったら、何でも相談して欲しい」と来場者に呼びかけておりました。

がんセンターでは、これからも県内広く様々なPR活動をとおして、がんに関する認知度を高めていきたいと考えております。



矢巾町応援アンバサダー 工藤有紗さんも
応援に来てくれました！



矢巾町イベント「やはぱーくにじいろモール」に 参加いたしました

6月20日(土)、21日(日)の2日間、矢巾町のやはぱーくで開催された「にじいろモール」へ参加し、がんに関する啓発活動を行いました。

当日は、岩手医大が企画した小学生までのお子さん対象の体験会も開催され、赤ちゃん抱っこ体験や、お菓子をを使った調剤体験、ドクターヘリ「フライトナース」体験などに参加する、多くの家族連れの姿が見受けられました。

がんセンターブースにも、2日間で約300名の方が訪れ、リーフレットやグッズをお渡ししました。



河東フェスにて、 がん相談支援センターの PR活動を行いました

6月21日（日）、HEAT CORE BASE（旧彦部小学校）にて開催された「河東フェス2026」にて、がん相談支援センターのPR活動を行いました。

当日は、がん相談支援センターのPRブースを設置し、がんに関するリーフレットの配布や相談コーナー、ハンドマッサージ等を行いました。

併せて、がんに関する認知度アンケートを行い、100名の方よりアンケートにご協力いただきました。

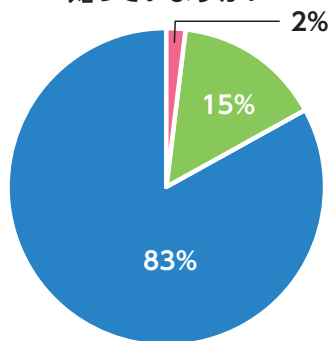
当日は、悪天候の中での開催となりましたが、約900人と多くの来場者があり、チラシを見て、ブースにお越しいただいた方もいらっしゃいました。

また、アピアランス担当者によるハンドマッサージも来場者から好評でした。

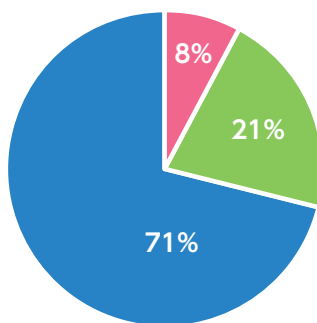
がんセンターでは、これからも、県内広く様々なPR活動をととして、がんに関する認知度を高めていきたいと考えております。

アンケート結果（100件の回答）

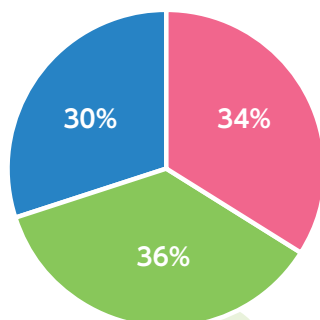
「アピアランスケア」について
知っていますか？



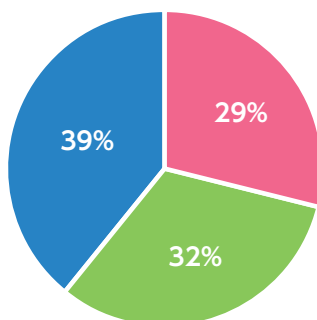
「がんの妊孕性温存」について
知っていますか？



県内に「がん相談支援センター」が
あるところを知っていますか？



「がん患者・家族サロン」を
知っていますか？



■ 知っている ■ 言葉だけは知っている ■ 知らない



がん患者・家族サロン がんの相談日について

がん患者・家族サロン（以下、がんサロン）では、毎月がんに関する様々なイベントを開催しております。昨年、がんサロンが2階から7階に移転した際に無人となりましたが、利用している患者さんやご家族より「寂しい」「不便だ」などの意見をいただきました。その意見を受け、がんセンターでは、患者さんが困らないよう、ボランティアや、スタッフが在中する時間を順次増やすことといたしました。

スタッフ在中日は、がん相談支援センターの看護師やソーシャルワーカーの他、がんセンターのスタッフが対応いたしますので、がんサロンのカレンダーをご確認の上、是非、がんサロンにお越しください。

スタッフ在中日は、相談の他、コットン帽子やタオル帽子などの手作り作品も差し上げておりますので遠慮なくスタッフにお申し付けください。

また、不在の際は、がんセンターまでお電話にてお気軽にご連絡ください。患者さんに人気のスタッフ、「ユミコの相談日」もございます。

がんサロンでは、これからも様々ながんに関する相談をお受けしますので、ご活用ください。



がん相談支援センター

アピアランスケアコーナーのご案内

これまで、がん患者・家族サロン内にありましたアピアランスケアコーナーは、1階 がん相談支援センター（患者サポートセンター内）に移転しました。

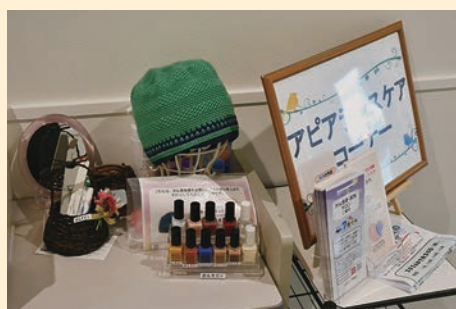
副作用による外見の変化によるお悩み、またウィッグなど、アピアランスケアについてご相談をしたい方は、1階 患者サポートセンター内にある、がん相談支援センターにお越しください。

アピアランスケアコーナーでは、長さや色の違うウィッグをご用意しております。実際に手に取り、自分にあったウィッグをお探しできるほか、使用方法についても一緒に考えます。

なお、ウィッグの他にも、ケア帽子、乳がん術後下着、ネイル、眉毛スタンプなど、カタログだけでなく実物も用意しておりますので、実際に手に取ってお試しいただけます。（※販売はしておりません。）

また、手作りのタオル帽子やコットン帽子など、無料で配布も行っております。希望される方は、是非お申し出ください。

がん相談支援センターは、電話予約も可能です。
お急ぎの方は、是非、お電話で予約の上、お越しください。
がん相談支援センター：019-611-8073（直通）





地域連携病院とのアピアランスケアに関する情報交換会 岩手県立胆沢病院とアピアランスケア の情報交換を行いました

当院では、厚生労働省の「アピアランス支援モデル事業」施設に採択された令和6年度より、年2回、地域がん拠点病院とアピアランスケアに関する情報交換会を開催しております。

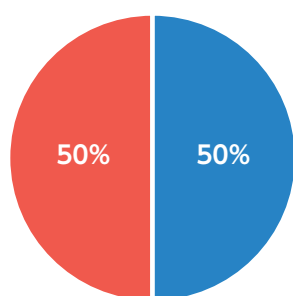
今年度は、7月27日（月）に岩手県立胆沢病院にお伺いしました。

情報交換会では、がん相談支援センター専従看護師の（当院の）橘主任看護師から、アピアランスケアの概要や情報提供の必要性について講義があり、当院で使用しているリーフレットの紹介、アピアランスケア用品の紹介などを行いました。

アピアランスケアは、特別なケアや、医療用の用品を必要とするものではありません。スキンケアや衣服に関しても、ご自分の愛用のものでいいことや、お近くのスーパーや100円ショップなどの商品でも代用できるなど、さまざまな工夫について、話し合うことが出来ました。

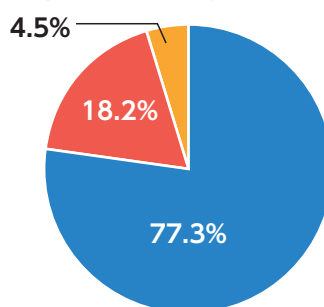
次回は10月14日（水）岩手県立宮古病院に訪問予定です。

この情報交換会を通してアピアランスケアの必要性について理解できましたか？



■ 理解できた
■ ある程度理解できた
■ どちらともいえない
■ あまり理解できなかった
■ 理解できなかった
(22件の回答)

情報交換会を開催したことで、明日からの実践に役立ちますか？



■ 役立つ
■ 少し役立つ
■ どちらともいえない
■ あまり役に立たない
■ 役に立たない
(22件の回答)

がんサロンからのお知らせ

＼たくさんの寄贈品ありがとうございます。／



コットン帽子



タオル帽子



ポーチ



手作り帽子①



手作り帽子②



編みぐるみ



エコバッグ



まけないぞう



患者さまより、お礼のメッセージが届いております。

肺がんの抗がん剤ですっかり髪が抜け、タオル帽子をいただき嬉しかったです。髪は伸びてきましたが、冬になり寒いのでかぶっています。暖かくてとてもいいです。化学療法は続きますが、一日一日を大切に楽しく過ごしていきます😊

抗がん剤治療に入るにあたって“自分の変化”が考えられず、不安だけが募りました。そんな時、サロンのスタッフさんに色々アドバイスをいただき、その際に帽子をプレゼントしていただきました。治療中、ずっと使わせていただき、本当に感謝しています。

本当にありがとうございました。

先日、卵巣を手術した者です。これから抗がん剤治療が始まるにあたって不安な気持ちがありますが、この様な素敵なお帽子をいただき、いろいろおしゃれを楽しみ、ポジティブな生き方を楽しもうと決意しました。素敵なお出会いに感謝いたします。



Thank you!

とても嬉しいです。長年かかって乳がんの治療しております。今日は吹雪のなか医大にきました。前方が見えづかったのですが、生きるために頑張って運転してきました。私には、今日はとても良い日になりました。とても手がこんだステキな帽子いただきました。吹雪の日なので早速つけて帰ります。感謝で目がうるんでしまっていることと、最近、右手（右乳がんの後遺症）が震えます。乱筆ですみません。ショパンさん、最高のプレゼントありがとうございます。大切に大切に使ってまいります。

院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなく、どなたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめお電話にて日時をお約束をすることをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平日(月～金) 9:00～16:00

第1・第4土曜日 9:00～12:00

※10月からの土曜日の対応は、下記に変更になります。

第1土曜日 9:00～16:00

岩手医科大学附属病院 1階
患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者さんおよびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111

平日(月～金) 10:00～16:00

岩手医科大学附属病院 東エレベーター 7階



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編集後記

がんセンターだより14号を最後までお読みいただき誠にありがとうございます。今回は緩和ケア研修会の他、イベントの参加報告、現在のアピランスケアコーナーやがん相談体制について特集いたしましたがいかがでしたでしょうか。今後もがんセンターの活動の様子を紹介するほか、がんになっても安心して治療ができるよう情報発信に努めてまいります。まだしばらくは厳しい暑さが続きますが、体調にはくれぐれもお気をつけ下さい。